

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3047号 2024年5月28日(雨) 第43回例会 会員数102名

## 夜間例会

点 鐘 石川(元) 会長  
司 会 副SAA 今泉会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

◇本日のディナー スペシャルディナー

チャリティーゴルフ大会」の案内届く。6月29日、イーストウッドカントリークラブにて開催。関心のある方は幹事迄ご連絡を。



## 卓 話

「依存症からの回復」



ビジター紹介 小林(正) 副会長

◇特定非営利活動法人 栃木DARC(ダルク)

代表理事 栗坪 千明 様(卓話者)



会長挨拶 石川(元) 会長

皆様、こんばんは。いよいよ、数えるほどになってまいりました。よく、「光陰矢の如し」とか「無常迅速、時人を待たず」とか、時間が経つことが言われますが、後数回、無事におえることを祈りながら務めていきたいと思っています。また、いよいよ梅雨がやってまいります。梅雨というのは嫌な季節ですが、自然の中では必要な時期と言われております。梅雨がなければ実はつきませんし、作物が育ちません。嫌な梅雨を越えないと実りがこない。人も一緒だと思っています。嫌なこと、やりたくないと思ったこともやることによって、実りがくる、ひとつ殻がむけるのだろうと思います。あと一か月、なんとか務めていきたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



幹事報告 谷田部(修) 幹事

◇現況報告書に載せる「事業報告書」「事業計画書」「趣味の会の報告」が未提出の方は事務局迄ご提出を。

◇現況報告書や会員一覧の個人情報の記載内容に変更のある方は事務局へご連絡を。

◇宇都宮南RCより「スペシャルオリンピックス

特定非営利活動法人 栃木DARC  
代表理事 栗坪 千明 様

皆様、こんばんは。今日はお招きいただきまして、ありがとうございます。特定非営利活動法人栃木DARCは県や国の委託事業を行っているところで、実質、施設の運営は株式会社CLINEで行っています。DARCは、Drug Addiction Rehabilitation Centerの頭文字をとって「ダルク」と読ませます。1985年に近藤恒夫が薬物依存症の施設を設立しました。DARCは全国に60以上の事業所と100以上の施設が運営されています。栃木DARCは2003年に開設し、人数は50~70名の間で推移しています。現在、県内に5か所の施設を運営しています。最初に、那須にファーストステージセンターを開設し、2006年に社会復帰用の施設としてサードステージセンターを作りました。心理学的アプローチで、ピア・カウンセリングといってお互いがカウンセリングしあうのですが、そこで話ができないとうまく回復につながりません。精神科のドクターと話し合いをしながら

ら、農業をやった方がいいのではないか、ということ、那珂川にコミュニティファームを作りました。続いて、女性の施設を、それまでなかったので、2011年に開設、また野木町にセカンドステップセンターを開設しました。

依存症にはいろいろな種類があります。

- ・プロセス依存 行為に依存する  
ギャンブル・買い物窃盗壁・ネット・性等
- ・物質依存 ものに依存する  
アルコール・薬物・食べ物等、
- ・関係依存 人への依存。  
恋愛、親子関係・DV・ストーカー等

最近の傾向ですが、覚せい剤は再犯者が多く、40代以降の人の相談がみられます。若い人が覚せい剤の相談でDARCにくることは少なくなってきました。若い人では、市販薬や精神薬の相談が多くみられます。ギャンブルについては、IR推進法の影響もあり、ギャンブル等依存症対策基本法が出来ました。拠点機関の病院で診察するようになったので、少しクローズアップされているところです。後は、昨年、詐欺をしてホストに貢いだ、といった話がありましたが、ホストに依存するということがあります。うちにも相談がありますが、ちやほやしてくれるので自分の承認欲求が満たされるようです。また、大麻取締法ですが、今年度から使用罪が施行されることになりました。

では、どういう人が薬物を使うようになるのか、ということですが…。

- ・環境 家族の問題。非行少年、先輩との人間関係の中で。
- ・自己処方 もともと精神的な疾患がある。自分で認識していないまま使用し、改善されたと思ってしまう。ASDやADHDなどの発達障害の人に多い傾向有。
- ・引きこもり SNS等で情報を知る。

アルコール依存症というものがありますが、一日の適量は日本酒換算だと2合までといます。それ以上の摂取だと、朝まで残っていたり、睡眠の妨げにもなります。依存症の特徴として、「俺

は強いからならない。人に迷惑をかけていない。」ということで、自分が依存症という認識はありません。ガンマが2000以上になっても、「自分はアルコール依存症ではありません。ちょっと飲み過ぎただけです。」と、本人は認めませんので、周りの人からみていただく、ということが大事なようになってきます。脳をいったん綺麗にする必要があるのも、週に1回休肝日を設けるのも大事なことだと思います。アルコール依存症は周囲の人を巻き込んでしまいます。手の震え等、離脱症状で身体的に厳しい状況になり、それを抑えるためにまたお酒を飲み、離脱症状がどんどんひどくなります。その頃にDARCに相談に来るので、私としては、もう少し前に来てくれればもっと早くに回復するのに、と思っています。どんな問題が起きているのかまず整理して、どういう飲み方をしているのか、飲むお金はどこから手に入れているのか、酔っていない時はどうなのか、そういうことを見たうえで、専門機関に相談する。そこで家族にできること、できないことを知って、その人が今一番必要としている回復支援機関につなぐ。そういうコーディネーターが大事だと思います。

最後に、DARCでの依存症の利用者の種類ですが、やはり、覚せい剤が多いです。次に多いのがアルコールで3割弱、次に向精神薬で安定剤や睡眠薬です。その他に、ギャンブルやホスト等が含まれてきます。危険ドラッグというのも最近また増えています。摂食障害はほとんどが女性です。最近ではネットゲームがあります。依存症というのは、非行でも性格の問題でもありません。犯罪につながることもありますが、犯罪で取り締まったからといって、解決するものでもありません。依存症という脳の障害、精神医療分野に含まれる脳の障害なので、早く専門機関につなげることが大事なことだと思います。

乾 杯 入江 武パスト会長

中締め 石川 元信会長